

平成23年度地域密着型金融の上期取組状況(4~9月)について

当金庫は、「地域と共生し豊かな街づくりに奉仕する。」「顧客に最良の金融サービスを提供し信頼に応える。」ことを経営理念として掲げ、創業以来培ってきたお客さまとのリレーションシップをもとに、地域金融機関としての機能発揮に役職員一同本気で取組み、「地域で最も信用、信頼される金融機関」を目指しています。

平成23年度は、「顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮」、「地域の面的再生への積極的な参画」、「地域や利用者に対する積極的な情報発信」の推進を通じて、地域密着型金融の実践に積極的に取り組んでいます。

1. 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

(1) 日常的・継続的な関係強化に向けた取組み	
具体的取組策	上期取組状況(4~9月)
定期的な支援先の訪問により実態の把握と経営面でのアドバイス等の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>経営支援先50先に対し、延べ訪問支援回数136回(平均2.7回/先)。</li> <li>金融円滑化認定支援先54先に対し、延べ訪問支援回数104回(平均1.9回/先)。</li> </ul>
(2) 目利き能力の向上	
具体的取組策	上期取組状況(4~9月)
顧客企業のライフステージ等に応じた事業ニーズに対応できるように、「目利き能力」の向上にむけた人材育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部研修: 近信協主催「融資渉外研修会」2名派遣、兵信協主催「目利き力・企業再生支援講座」2名派遣。</li> <li>通信講座: 「法人融資渉外実践講座」12名受講、「法人融資渉外基本講座」7名受講、「目利き力養成講座」10名受講。</li> </ul>
中小企業診断士の養成を継続的に実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>中小企業診断士1名登録。引続き1名が通信講座を受講しており資格取得に向けて準備中。</li> </ul>
(3) ビジネスマッチングの推進	
具体的取組策	上期取組状況(4~9月)
(社)兵庫県信用金庫協会が主催する「川上・川下ビジネスネットワーク事業」等を活用したビジネスマッチングの機会を顧客企業に提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>「川上・川下ビジネスネットワーク事業」に参加しビジネスマッチングを推進(今年度シーズ企業3先登録/総登録11先)。</li> <li>川上・川下ビジネスネットワーク事業の一環となる「平成23年度先端シーズプレゼンテーション&amp;マッチングフェア」(11月17日開催予定)に4社出展予定。</li> <li>同事業の一環となる「オープンイノベーション事業」の説明会に参加(7月22日)。</li> </ul>
当金庫が主催する異業種交流会を通してビジネスマッチングの機会を顧客企業に提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>11月に講演会、12月にビジネスフェアの視察を予定。</li> </ul>
顧客企業の各種ビジネスフェアへの出展について支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>信金中金主催の貿易投資相談会を始めとし、7件の商談会・ビジネスフェア等を18先に案内し5先が参加。</li> </ul>
「にしんビジネスネットワーク」の活用を通じた、顧客企業の販路拡大に向けた支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成23年9月末現在で「にしんビジネスネットワーク」の登録企業数は50先。マッチングに向けた取組案件が5先。うちマッチング実績は3先。</li> </ul>
(4) 経営改善・事業再生等に向けた取組み	
具体的取組策	上期取組状況(4~9月)
支援先に対しての経営改善計画の策定支援と進捗状況のモニタリングを実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>経営支援先については、経営改善計画の策定と決算終了時に計画と実績の検討を実施のうえ課題解決に向けた取組みを支援している。原則2ヶ月に1回の訪問と試算表の徴求によりモニタリングを実施。</li> <li>金融円滑化認定支援先については、貸出条件変更時に改善計画の策定を支援し、その後3ヶ月に1回の訪問に加え営業店によるモニタリング結果の報告を受けている。上期のランクアップは1先。</li> </ul>
産学連携等による技術開発支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>兵庫県立大学産学連携機構と連携し、事業所の技術相談や課題の解決に向けた取組みを実施。上期は9先の事業所を訪問し解決に向けた提案を実施。</li> </ul>

公的機関との連携による技術評価支援	・ひょうご産業活性化センターの「中小企業技術評価制度」の受付は5先。うち2先に評価書を発行。当金庫「サポートローン」の実績は2先/20百万円。
創業者向けの融資制度(地方公共団体・保証協会付等)及び創業・新事業に対する公的助成制度(国・地方公共団体の補助金等)の紹介・活用	・創業、新事業の対象先の情報収集を行い、各種制度の紹介及び活用支援を実施。 地方公共団体・保証協会付創業者向け融資制度の活用は1件/8百万円。 上記制度融資以外の創業者向け融資の実績は1件/2百万円。
次世代経営者等を対象にした事業承継支援を実施	・「第9回にししんJ-CLUBセミナー」開催(5月26日)。 ・「第10回にししんJ-CLUBセミナー」開催(8月24日)。

#### (5) 外部専門家・外部機関等との連携

具体的取組策	上期取組状況(4~9月)
外部専門家(弁護士・税理士・中小企業診断士等)や外部機関(地方公共団体・兵庫県立大学産学連携機構・商工会議所・商工会等)との連携を図り、顧客企業の事業拡大や経営改善等に向けた支援の実施	・(社)兵庫県信用金庫協会が推進する「川上・川下ビジネスネットワーク事業」に参加しビジネスマッチングを推進(今年度シーズ企業3先登録/総登録11先)。 ・兵庫県立大学産学連携機構と連携を図り、技術開発等を支援。 ・ひょうご産業活性化センターと連携を図り「中小企業技術評価制度」を活用した支援を実施。

#### 2. 地域の面的再生への積極的な参画

具体的取組策	上期取組状況(4~9月)
「財団法人にししん地域振興財団」を通じた地域の面的再生に向けた積極的な取組み	・宍粟市の観光案内看板設置に助成(助成金50万円)。
地元の地方公共団体と連携し、地域的・広域的な活性化プランの策定	・宍粟市経済情報交換会(2~3ヵ月に1回開催)に参加。 ・宍粟市観光基本条例及び宍粟市観光基本計画策定に向けた委員会に、当金庫職員を委員として参画(6月29日、7月28日、9月15日、10月7日)。 ・宍粟市環境基本計画の「エコしそアクションプラン2011」について、宍粟市まちづくり推進部との意見交換(8月30日)。

#### 3. 地域や利用者に対する積極的な情報発信

具体的取組策	上期取組状況(4~9月)
顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮や地域の面的再生への積極的な参画に関する取組み等について、計画やその成果をホームページやディスクロージャー誌等で分かりやすい形で情報発信	・平成22年度の「地域密着型金融の取組状況」をホームページ(6月)とディスクロージャー誌(7月)で公表。 ・平成23年度の「地域密着型金融の推進計画」をホームページで公表(8月)。

※「財団法人にししん地域振興財団」は、西播磨地域におけるコミュニティの形成及び地域の振興発展を図るため、コミュニティ活動、地場産業の活性化及び公共施設の整備などに対する支援を行い、地域社会の発展に寄与することを目的に、当金庫が基金の全額を拠出して設立された財団です。